

ユーザーズマニュアル 第1.0版



第1章 はじめに

1-1.製品の特徴	3頁
1-2.安全にお使い頂くために	6頁
1-3 製品に関するお問い合わせ	9頁

第2章 準備

2-1.マニュアルの構成	10頁
2-2.SREX-FSU1 インストール	11頁
	13頁
2-4.0mniPass インストール	15頁
■OmniPass のインストール	
■OmniPass のアンインストール	
2-5.0mniPass ユーザ登録	19頁
■OmniPass ユーザ登録	
■OmniPass へのログオン	

第3章 使用

3-1.アカウント情報の記憶	25頁
■アプリケーションログオンパスワードの記憶	
■ID の管理	
3-2.暗号化/復号化	33頁
■暗号化	
■復号化	
■暗号化ファイルの共有	
第4章 管理	
4-1 コーザの追加と削除	38 百

4-1.ユージの追加と削除	30 貝
■ユーザの追加	
■ユーザの削除	
4-2. アカウント情報の管理	40頁

4-3.インポートとエクスポート	42頁
■ユーザのエクスポート	
■ユーザのインポート	
4-4.0mniPass コントロールセンタその他の設定	45頁
■認証デバイスの登録	
■認証デバイスの必須設定	
■強力ログオンセキュリティを有効にする	
■暗号化/復号化	
■サウンド設定	
■タスクバーヒントを表示	

第5章 付録

5-1.アプリケーション API	50頁
■OmniPass 認証サンプルプログラム概要	
■API 呼び出し方法	
■API インターフェイス仕様	
5-2.トラブルシューティング	57頁
■OmniPass ログオン画面が表示されない	

■OmniPass ユーザの追加ができない

■ブランクパスワードのユーザを OmniPass に追加できない



1-1. 製品の特徴

本章では SREX-FSU1 指紋センサおよび付属ソフトウェアの製品の特徴と使用上の注意点について 説明しています。

■使いやすく軽量コンパクト

指紋センサに富士通製静電容量式半導体センサ 256×300 ピ クセルを搭載。小型でありながらセンサ面が大きく、自然に指を 置くことができ、使いやすいデザインになっています。



■確実な個人認証が可能

指紋認証エンジンに最新のバイオメトリックス技術「特徴点相関方式」を採用。さらに、認証しづらい指紋に対して形状特徴を追加して照合を行う(適応型形状相関法)ことにより、本人受理率 99.96%以上、他人受理率 0.0002%以下の高性能な指紋識別能力を実現しました。また、指紋デー タは暗号化された非可逆性データで実際の指紋画像には戻せませんので、プライバシー保護も万全で す。

「特徴点相関方式」の概念

隆線は指紋の模様を形成する皮膚の盛り上がった部 分になり、特徴点には隆線が止まっている部分(端点) と隆線が分岐している部分(分岐点)があります。特 徴点相関方式では端点と分岐点のデータのみを使い ますので、指紋データが記録されることはありませ ん。
 特徴点抽出
 連結関係抽出
 指紋データ登録

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・
 ・
 ・

 ・<

■認証ソフトウェアのデファクトスタンダード OmniPass3.0 採用

SREX-FSU1 指紋センサと OmniPass と統合することにより、コンピュータ、アプリケーション、 Web サイト、その他のパスワードで保護されたリソースへのアクセスを制限する強固なセキュリティ 認証システムの実現が可能です。OmniPass は下記の機能を提供します。

- ●指紋認証による Windows ログオン 指紋認証により Windows にログオンします。ユーザ名とパスワードを入力する必要はありません。 スタンバイからの復帰時、パスワード対応スクリーンセーバーからの復帰時も指紋認証によるログ オンが可能です。
- ●ファイルの暗号化と共有 ファイルもしくはフォルダを選ぶだけで指紋認証を使ったファイルの暗号化と復号化を行うことができます。個人情報、機密情報のセキュリティ保護を行うことができます。 暗号化したファイルを他のユーザと共有する機能も提供しています。
- ●アカウント情報の管理 アカウント情報を要求する Web サイトやアプリケーションのアカウント情報(ユーザ名やパスワ ード)を無制限に記憶させることができます。一度 OmniPass にアカウント情報を記憶させるこ とにより、以後指紋認証を利用してログオンすることが可能になります。複数のアカウント情報を 覚えておくことができ、毎回入力する必要はありません。
- ●一台のパソコンを複数のユーザで利用することが可能
 複数ユーザの指紋を登録し利用することができます。暗号化ファイルの共有設定も可能です。
- ●ユーザ作成アプリケーションから認証呼び出し ユーザが作成したアプリケーションプログラムに OmniPass 指紋認証ダイアログを呼び出すため の API を公開しています。簡単に指紋認証を組み込むことができます。

■OmniPassME/OmniPassEE 対応

●PocketPC2003 (PDA) 標準対応

PocketPC2003、Windows Mobile SecondEdition 対応の OmniPass Mobile Editoin (OmniPass ME)をホームページからダウンロードして使用することができます。弊社製品 REX-CFU1 USB ホストカードを装着することにより、PDA で SREX-FSU1 を使った指紋認証 を行うことができます。

🚹 ホームページからのダウンロードは 2005 年 8 月以降を予定しています。

●WindowsServer2003 対応(オプション)

企業ユーザを対象に、WindowsServer2003 用 OmniPass Enterprise Edition (OmniPassEE) を別売りで用意しています。

■パッケージの内容

本製品のパッケージには、次のものが同梱されています。不足の場合は、お手数ですが販売店または 弊社サポートセンターまでご連絡ください。

OSREX-FSU1 指紋認識装置 Oセットアップディスク(CD-ROM) Oユーザーズマニュアル(本書) O保証書

製品名	USB 指紋認証装置(USB Fingerprint Sensor)
型番	SREX-FSU1
指紋センサ	静電容量式半導体センサ
	センサエリア:12.8mm×15mm
	解像度 :500dpi
インターフェイス	USB1.1
電源仕様	USB バスパワーデバイス
消費電流	70mA
保証動作環境	温度:5~35℃ 湿度:20~80%
外形寸法・重量	40mm×68mm×25mm 約80g
USB ケーブル長	約 1m
対応 OS	Windows2000/WindowsXP
指紋照合方式	特徵点相関方式
	本人受理率 99.96%・他人受理率 0.0002%
	認証速度:1sec 以下
対応認証アプリケーション	OmniPass3.0(Windows 対応版)
	OmniPass Mobile Edition(PocketPC2003 対応版)
	OmniPass Enterprise Edition(WindowsServer2003 対応版)

■SREX-FSU1 製品仕様

■ OmniPass3.0 製品仕様

OmniPass をインストールするためには、ハードディスクドライブに下記の空き容量が必要です。また、下記のオペレーティングシステム(OS)と下記のインターネットブラウザも必要となります。最小限必要なシステム要件は次のようになります。

対応 OS	Windows2000、WindowsXP (Home または Professional)
対応ブラウザ	Internet Explorer 5.0 以降
必要 HDD 空き容量	35 MB以上



1-2. 安全にお使い頂くために

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本マニュアルでは、いろいろな表示をしています。これは、本製品を安全に正しくお使いいただき、 あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために目安となるもので す。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。



ご使用上の注意事項

■センサ表面の清掃について



①指紋センサは直接指で触れる部分であるため、汚れやすくなっています。センサ表面 が汚れていると、指紋の読み取りが困難になったり、照合率が低下したりすることが あります。時々清掃を行ってください。清掃の際には、乾いたやわらかい布でセンサ 表面の汚れを軽く拭き取ってください。

 Δ

②清掃の際に、センサ表面に水などの液体をたらさないでください。また、ベンジンな どの揮発性有機溶剤や化学雑巾は使用しないでください。

■指紋登録時・照合時のご注意

 1指の状態が以下のような場合には指紋の登録や照合が困難になったり、照合率が低下したりする ことがあります。

- ・ 汗や脂が多い
- ・ 手が荒れている、または極端に乾燥している
- ・ 指に傷がある、または摩耗して指紋が薄い
- ・ 急に太ったり、やせたりして指紋が変化した

手を洗う、手を拭く、登録する指を変えるなどお客様の指の状態に合わせて対処することで、状況が改善されることがあります。

②指紋の登録や照合を行うときは、センサに正しく指を置いてください。

■接続時のご注意

①1 台のパソコンに複数の指紋センサを接続しないでください。

②USB ハブに接続して使用する場合は、セルフパワー電源タイプ(AC アダプタなどで電源が供給 されるタイプ)のハブに接続し、直列接続は2 段以内にしてください。

③他社製の指紋センサがインストールされている場合は、そのソフトウェアをアンインストールしてから本指紋センサを接続してください。

④指紋認証中に本指紋センサの取り外しを行わないでください。

■指の置き方について

本指紋センサの認識率や照合率の精度を保つために、下図①を参考に指を置いてください。指の 腹(指紋の中心部)をセンサの中央に置きます。下図②は指の置き方の悪い例になります。指を斜 めに置いたり、指の一部しかセンサに触れていなかったりすると正確に指紋が読み取れません。



図 1.指の腹の中央をセンサに密着させる

- X
- 図2.指の一部しかセンサに触れていない

指紋サンプル例

●正しく読み取られた指紋



●読み取り時に問題のある指紋



(A) 指を奥に置きすぎている

- (B) 指を手前に置きすぎている
- (C) 指がセンサの右側にずれている
- (D) 指の押しかたが弱い
- (E) 指が立っている

●読み取れない指紋



- (A) (B)(A) 指が乾きすぎている
- (B) 汗が多すぎる(C) 指が摩耗している

■その他のご注意

①指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



4

Æ

 \mathbb{A}

- ②本製品はパソコン用周辺機器として設計されております。人命に関わる用途、または 高度な信頼性、安全性を要する用途での使用は考慮されておりません。このような用途 で使用される設備、機器、システム等への組み込みは避けてください。
- ③本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。

(C)

- また、本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一不審な点や誤りな どお気づきになりましたらご連絡願います。
- ④本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守およびサポートは行っておりません。

⑤本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。



 \land

⑥ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モータなどノイズを発生する機器の近くで は誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。

⑦高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びたものの近くでの保管は避けてください。



⑧製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。

⑨無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることは行わないでください。



1-3. 製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際には、 巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入の上、下記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社よ り電話または FAX、電子メールにて回答いたします。

ご質問に対する回答は、下記営業時間内となりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル TEL 06-6633-6741 月~金 10:00~13:00、14:00~17:00 土曜、日曜および祝日を除く

FAX 06-6633-3553 電子メール:https://ssl.ratocsystems.com/mail/support.html

ホームページで最新の情報をお届けしております。 http://www.ratocsystems.com

個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関る業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。



2-1. マニュアルの構成

本マニュアルの第2章「準備」からは、SREX-FSU1 指紋センサとセキュリティ認証ソフトウェア OmniPass を組み合わせて使用して頂く上で最初に行う必要がある準備事項について説明を行ってい ます。第3章「使用」では、実際に OmniPass を使って頂くための操作方法について説明を行ってい ます。第4章「管理」では、OmniPass の各種設定項目の解説および運用管理の方法に関する説明を行 っています。

本製品をご利用される前に、第2章で説明されている準備作業を必ず行ってください。第3章「使用」 および第4章「管理」で説明されている項目に関しては、ご使用の目的に合わせて必要となる内容を参 照願います。

本マニュアルは下表のように構成されています。

●第2章 「準備」

2-2.SREX-FSU1 インストール	指紋センサドライバのインストール手順を説明します。
2-3.Windows ログオンパスワード	Windows ユーザアカウント登録手順を説明します。
2-4.0mniPass をインストール	インストール、アンインストール手順を説明します。
2-5.0mniPass ユーザ登録	OmniPass にユーザを登録する方法を説明します。

●第3章 「使用」

3-1.アカウント情報の記憶	ID とパスワードの自動入力機能の使用方法を説明します。
3-2.暗号化/復号化	ファイルとフォルダの暗号化/復号化機能の使用方法を説明し ます。

●第4章 「管理」

4-1.ユーザの追加と削除	OmniPass にユーザを追加/削除する方法を説明します。
4-2. アカウント情報の管理	3-1 で記憶したアカウント情報の管理方法を説明します。
4-3. インポートとエクスポート	エクスポート/インポート機能の使用方法を説明します。
4-4.0mniPass コントロールセンタ	その他の OmniPass 機能を説明します。
その他の設定	



2-2. SREX-FSU1 インストール

OmniPass 指紋認証登録を行う前に、必ず SREX-FSU1 のインストールを行ってください。

下記は WindowsXP でのインストール手順になります。Windows2000 でも同様の手順でイン ストールを行うことができます。

SREX-FSU1をパソコンのUSBポ ートに接続すると、「新しいハードウェ アの検出ウィザード」が起動します。 Windows XPのSP2では、最初 に「Windows Update サイト検索」 が表示されますが、「いいえ、今回は接 続しません」にチェックを入れて、「次 へ」をクリックします。



2 製品添付のドライバ CD を CD-ROM ドライブにセットしてくだ さい。

> 「ソフトウェアを自動的にインスト ールする」にチェックを入れて、「次へ」 をクリックします。



3

<u>.</u> 1

ドライバソフトウェアが正しく検出 されると、ハードウェア名「RATOC SREX-FSU1 FP Sensor」が表示さ れます。ここでは、「続行」をクリック します。



4 ドライバソフトウェアのコピーが開 始します。コピーは自動的に終了しま すので、特に何もする必要はありませ ん。



5 最後に「完了」ボタンをクリックしま 新しいハードウェアの後出ウィザード す。



インストールが正常に行われている か確認する場合は、下記の手順で行い ます。

6

「スタートボタン」から「コントロ ールパネル」を選択し、コントロール パネルの表示をクラシックに切り替え ます。「システム」をクリックし、「ハ ードウェア」のタグを選択し、「デバイ スマネージャ」をクリックします。

USB コントローラの下に、 「RATOC SREX-FSU1 FP Sensor」が登録されていればインスト ールは正常に行われています。

副デバイス マネージャ	
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルブ(H)	
II 🗳 👙 😫 🛰 🕱 👧	
- 🚇 RATOC-IR82GESL2	~
GBBルートハワ ● 標準エンハンス PCI to USB ホスト コントローラ ● 標準エンハンス PCI to USB ホスト コントローラ ■ ● キーボード	



OmniPass ユーザ登録では Windows ログオン時のユーザ名とパスワードが必要になります。 OmniPass ユーザ登録を行う前に、必ず Windows のログオンパスワードを作成してください。

1 「スタートボタン」から「コントロールパネル」を選択し、「ユーザアカウント」をクリックし ます。

2 「変更するアカウントを選びます」か ら、Windows にログオンするときと 同じユーザ名をクリックします。



3 「パスワードを作成する」をクリック します。



4 「新しいパスワードの入力」と「新し いパスワードの確認入力」にパスワー ドを入力し、「パスワードの作成」をク リックします。

> 作業終了後、メニューバーの「戻る」 をクリックします。



5 「ユーザのログオンやログオフの方法 を変更する」をクリックします。



6 「ようこそ画面を使用する」と「ユー ザの簡易切り替えを使用する」のチェ ックボックスにチェックを入れて、「オ プションの適用」をクリックします。



7 ウィンドウの右上にある Xボタンをクリックしてユーザアカウントの設定を終了します。この後、Windowsを再起動します。





2-4. OmniPass インストール

OmniPass のインストール・アンインストールについて説明します。

■OmniPass のインストール

 製品付属 CD-ROM の OmniPass フォ ルダに格納された「SETUP.EXE」を 起動します。「ようこそ」の画面が表示 されたら、「次へ」をクリックします。

> OmniPassをインストールするユーザ はシステムに対して管理者権限を持っ ている必要があります。

2 使用許諾書の内容をご確認頂き、問題がなければ「はい」をクリックします。



nniPass – InstallShield Wizard 使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	
契約の残りの部分を読むには、[Page Down]キーを押してください。	
重要、ホライセンス契約書は本コンピュータソフトウェア プログラムのインストー ル前にお読みんださい。本条項に同意されない場合は、本ソフトウェアをインストー ルできません。 Softex Inc. は本コンピュータソフトウェア プログラムおよびパッケーブに含まれ るコーザー マーュアリホよ び Softex Inc.よりお客様が受け取るあらゆる修正、 更新、2数版または拡張を提供し、かつ以下に更 言する条項の範囲におけるその使 用評評証契約を行うものです。	
ライセンス許諾および著作権	~
使用時時表現約の全条項に同意しますか? [いいえ]を選択するとセットアップが終了されます するには、この使用時時契約に同意が必要です。	す。OmniPassをインストール
taliShield (戻る(B) (はい 公	2 いいえ(<u>N</u>)

3 インストール先の選択を行います。「次 へ」をクリックします。



ルートディレクトリ(例えば、C:¥) にインストールしないでください。 OmniPassをインストールしたディレ クトリの下層でファイルやフォルダの 暗号化はできません。



4 OmniPassのインストール実行画面が 表示されます。インストールは自動終 了します。ここでは、何も操作する必 要はありません。

OmniPass – InstallShield Wizard	×
セット 7 ッフ* ステーキス	
OmniPass セットアップは、要求された操作を実行中です。	
InstallShield キャンセル)

5

 Λ

「コンピュータの再起動」を選択し、 「完了」クリックします。

指紋センサを接続した状態で再起動す ると、Windows ログオン画面に OmniPassの指紋認証ダイアログが表 示されます。この段階では、OmniPass ユーザ登録は完了していませんので、 パスワードを使ってWindows ヘログ オンしてください。





6 再起動後、タスクバーに鍵マークの OmniPassコントロールセンタのアイ コンが表示されます。

OmniPass コントロールセンタ

1 28-F

■OmniPassのアンインストール



OmniPass のアンインストールを行うと、OmniPass で暗号化されたファイルは復号化 することができなくなります。また、保存されたパスワードと情報は全て失われます。 アンインストールを行う前に、以下の操作を行うことを推奨します。 (1) 全ての OmniPass 暗号化ファイルを復号化する。 (2) ユーザプロファイルをエクスポートする。

 「スタートボタン」から「コントロー ルパネル」を選択し、「プログラムの追 加と削除」をクリックします。

> 「OmniPass」を選択し、「変更と削除」 ボタンをクリックします。



2 アンインストール時の警告内容をご確 認頂き、アンインストールして問題が ない場合は「次へ」をクリックします。



3 アンインストールの最後の確認です。 実行する場合は「はい」をクリックし ます。



4 OmniPassのアンインストール実行画 面です。アンインストールは自動実行 されますので、ここでは何もする必要 はありません。

OmniPass – InstallShield Wizard	
セットアッフ・ステータス	
OmniPass セットアップは、要求された操作を実行中です。	
InstallShield	キャンセル

5 アンインストール完了です。「再起動」 を選択して、「完了」をクリックします。





Omni<mark>Pass</mark>

2-5. OmniPass ユーザ登録

OmniPass ユーザ登録では Windows ログオン時のユーザ名とパスワードが必要になります。登録を 行う前に、必ず Windows のログオンパスワードを作成してください。

■OmniPass ユーザ登録

OmniPass 登録ウィザードから、「登録」をクリックします。



 ユーザ名、ドメイン、パスワードを入力 して、「次へ」をクリックします。

⚠

Windows にログオンするときと同じ ユーザ名とパスワードを入力します。 ドメインは通常「コンピュータ名」にな ります。

企業環境、または企業リソースにアクセ スする場合は、ドメイン名は、 Windowsのコンピュータ名ではあり ません。システム管理者にお問い合わせ ください。



3 「SREX-FSU1 Fingerprint Sensor」の指紋表示を選択して、「次へ」をクリックします。

登録の認証デバイス	
@OmniPass	認証デバイスの選択
	このユーザに登録する認証デバイスを選択してください。 SREX-FSU1指紋センサー
再試行	次へ キャンセル

認証で使用する指をイラスト上で選択 し、「次へ」をクリックします。

⚠

指の選択画面には「練習」ボタンがあります。クリックすると、指紋のキャプチャを練習できます。



5

4

指紋の読み取りを開始します。画面の表 示に従って指紋の読み取りを行います。 指紋の読み取りは3回行う必要があり ます。読み取りが正常に行われた場合 は、読み取った指紋画像が緑色で表示さ れます。読み取りに失敗した場合は、指 紋画像が赤色で表示されます。



6

手順5で読み取った指紋との確認を行 います。もう一度、同じ指の指紋の読み 取りを行います。「認証に成功しました」 と表示されたら、「次へ」をクリックし ます。「認証に失敗しました」と表示さ れたら、「戻る」をクリックし、手順5 からやり直します。



7 「少なくとも2本の指を登録すること を推奨します」というメッセージが表示 されたら、「はい」をクリックします。 手順4の操作に戻り、異なる指で登録操 作を繰り返します。

> 認証デバイスの必須設定をします。設定 内容を確認して、「次へ」をクリックし ます。

8

これらの設定により、OmniPass 機能 へのアクセスを制限できます。デフォル トでは、SREX-FSU1 指紋センサが接 続されていない場合、すべての OmniPass 機能は指紋入力の代わりに ユーザ ID およびパスワードの入力を要 求します。左の設定ボックスにチェック を入れて有効にすると、OmniPass 機 能へアクセスするには、SREX-FSU1 指紋センサによる認証が必須となるよ うに設定されます。





9

オーディオとタスクバーの設定をしま す。設定内容を確認して、「次へ」をク リックします。

<u>•</u>

OmniPassが各種のOmniPassイベン トをユーザに通知する方法を選択でき ます。OmniPassの操作方法に慣れる まで、初心者モードタスクバーのヒント およびサウンドプロンプトをオンにす ることをお勧めします。



10 「完了」をクリックします。



11 「新規ユーザでログオンしますか?」の メッセージが表示されたら、「はい」を クリックします。

以上で指紋の登録は完了です。



12 OmniPass のインストールを完了し再起動すると、従来の Windows のログオンでは表示され なかった OmniPass 認証ダイアログが表示されます。これは、OmniPass 認証システムが呼 び出されると常に表示されます。OmniPass 認証システムは、以下の場合に呼び出されます。

- (1) Windows のログオン時
- (2) OmniPass のログオン時
- (3) ワークステーションのロック解除時
- (4) スタンバイまたは休止状態からの復帰時(OmniPass とは別に設定が必要です)
- (5) パスワード対応のスクリーンセーバーのロック解除時
- (6) パスワード等をOmniPass に記憶したサイトを開いた時





OmniPass ログオンダイアログが表示されない場合は、「5-2.トラブルシューティング」の「OmniPass ログオン画面が表示されない」の内容に従って問題を回避してください。

■OmniPass へのログオン

Windows ログオンユーザが OmniPass の機能を使用するためには、OmniPass ヘログオンする必要があります。

OmniPass コントロールセンタを起動し、「シ ステム設定」のページの「起動オプション」 で OmniPass へのログオン方法を選択する ことができます。



「起動オプション」では、下記の三種類の設定を選択することができます。

(1) 現在の Windows ユーザとして OmniPass に自動的にログオンする(デフォルト値)

(2) 起動時に手動で OmniPass にログオンする

(3) 起動時に OmniPass にログオンしない

(1)の設定が選択されていると、Windows にログオンした後、Windows 起動後に OmniPass に自動的にログオンします。

(2)の設定が選択されていると、OmniPass は Windows 起動後にユーザに OmniPass にログオン するように要求します。

(3)の設定が選択されていると、OmniPass はユーザに OmniPass にログオンするように要求しません。

タスクバーに登録された鍵マークの OmniPass 上にカーソルを移動することによ り、現在 OmniPass にログオンしているユー ザ名を確認することができます。

同様にマウス右クリックより、「ユーザのログオ ン」もしくは「現在のユーザのログアウト」を 選択することにより、Windows を起動したま ま OmniPass ログオンユーザを切り替えるこ とができます。









3-1. アカウント情報の記憶

OmniPass アカウント情報の記憶を行うことにより、アカウント入力(ユーザ ID、パスワード)が必要なウェブサイトに指紋認証により自動的にログオンすることができます。何種類ものパスワードを覚えておく必要はありません。

OmniPass3.0 が対応しているブラウザは Microsoft Internet Explorer 5.0 以降です。その他 のブラウザでの動作は保証されていません。

■Web ログオンパスワードの記憶

1 OmniPass はアカウント入力が要求されたことを自動検出し、「パスワードを検出しました」というメッセージを表示します。 アカウント情報(右のウェブサイトでは、ユーザ名とパスワード)を入力した状態にします。

Stiller Markets Markets Markets 74440 8880 8680 8680 8600 8600 8880 900 900 900 9000	hierret Explorer 18 7-40 AB76 Date 👷 2002A	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •
159 –US9 (Iniversal	SERIAL BUS
Hense Channel Press	new solutions in 1848	
	Menters 3-47-54.0	
C () http://www.ucb.org/members/	100-105	D102-H88#468
		06 (4v):th
		↓ パスワードも分配しました。 図 Descination(2)、- シフィールを含めたがく下のがありたちから (おした、パスワードスクロ、カスワドーのメニューのものパワード など取得プロンを使用します。
19 A Ditting - Merkers	WINH-ROAT	

2 タスクバーの OmniPass コントロ ールセンタを右クリックし、メニュ ーより「パスワードの記憶」を選択 します。

G#5 *	0	26,	PAR 👷 AND	• 🔨 😒 😨	- 35	
PH.20	ang,//www.abi	se/nenbox,	hoding	× 🗗	机 光水中	
3 =	USB		INIVERSAL	SERIAL B	115	
4 5	1000					
Horse	Channel	Press	several barre COMP		100	
- Merskena			1993			
					$\gamma \rightarrow \gamma$	
m	emt	per	Maniform 2			
	USD	me.mb	2-9-640-	0		
			109-10			
Charles Oferer	a without familian			0.022-81248460		
					181402	
				54	3-4-4034	ALL.
				_	2-9-0040	Mega

З

「パスワードの記憶中」が表示され た状態で、OmniPass キー(右図の 鍵マーク)をログオンプロンプト (アカウント入力ダイアログ)の近 くに移動しクリックします。

G #3 • 🔘 • 💌	az freeder, b	Dan 🌟 ANUS Nore	v 🛛 🕞 🖏	🖬 🖏	
sø –usø	ι	Iniversa	L SERIAL	Bus 🕯	
Home Channel	Press	eres autoors C.H.B		2 🛙	1
- Maribana		9			
		Menbers 2-9-640 H2D-640	0	W	
C D http://www.aukuing/member			0./020-F88284	NB)	
	8		1009- Orritori	P002011 20200122-10802	CP20ETR-0

4

OmniPass がアカウント情報を記 憶すると、「覚えやすい名前」のダ イアログが表示されます。「覚えや すい名前」を編集入力し、「完了」 ボタンをクリックします。 OmniPass に記憶させたアカウン ト情報は「パスワードの管理」に保 管されています。

OmniPass - 覚えやすい名前
OmniPassl こ記憶するよう指示したパスワードボックスを識別するための「覚えやすい名前」を入力します。た とえば、「覚えやすい名前」とは「個人的なクレジットカード のパスワードのようなものです。この「覚えやすいを新山よ、OmniPassが自動的コパスワードを入力できない場 合に、パスワードボックスを識別するのに使用されます。
覚えやす、 名前:
このパスワードのサイトの設定 記録時にこのパスワード保護されたサイトに自動的に入ります。認証ブロンプトは表示されません。 ビューザが認証されると、このパスワード保護されたサイトの [0K] または [送信] ボタンが自動的に グリックされます。
完了(Q) Cancel

すでに OmniPass に記憶させたウェブサイトに対して「パスワードの記憶」を再実行する と、OmniPass は現在記憶しているウェブサイトのアカウント情報(ユーザID やパスワード) を上書き更新します。

例えば、ウェブサイト www.usb.org のメンバー専用ページのアカウント情報をユーザ ID:RATOC とパスワード:XXXXXX で、すでに OmniPass に記憶させていたとします。と ころが、ある日 usb.org より新しいアカウント情報として、ユーザID:RATOC とパスワード: YYYYY への更新案内が送られてきて、今後は新しいパスワード:YYYYYY でログオンし なければいけなくなったと仮定します。その場合、usb.org にアクセスして、OmniPass に ログオンさせる代わりに新しいアカウント情報、ユーザID:RATOC とパスワード:YYYYYY を入力します。その後「ログオン OK」をクリックしないで、パスワードの記憶を使用してカ ーソルを OmniPass キーに変え、ログオンプロンプトの近傍をクリックします。OmniPass は確認を要求し、続いて usb.org 用のアカウント情報を上書きします。上記の操作により、 OmniPass に記憶させたユーザIDは同じですが、パスワードはXXXXXX から YYYYYY へ 更新されます。

■アプリケーションログオンパスワードの記憶

OmniPass はアカウント入力を必要とするホームページ以外に、「パスワードウィザード」の機能を 使って、アカウント入力を必要とする Windows プログラムのアカウント情報も記憶することができ ます。

1 OmniPass コントロールセンタを 起動し、「アカウントの管理」を選 択します。「アカウント設定」メニ ューより、「パスワードウィザード」 を選択します。

NoniPass			
ユーザの管理	ユーザ設定	システム設定	アカウントの管理 >>
 アカウント設定 ● IDの管理 ● バスワードの管理 ● バスワードの管理 ● バスワードウィザード 	(() ()	の管理	
	RATOC (既定値)		
		デフォルトとして設定	
	IDの削除		新規ID
	OK +	キンセル 道用	

2

Windowsプログラムのアカウント 情報入力画面を「パスワードウィザ ード」の近くに表示させます。 作業が終了したら、「OmniPassで 使用するパスワードダイアログボ ックスを呼び出し、そのダイアログ ボックスをこのウィザードの隣に 配置しました」をチェックし、「次 へ」をクリックします。



З

パスワードウィザードの「テキス ト」欄に適切なアカウントデータを 入力し、「このキーをドラッグ」を マウスでつかみ、 Windows プロ グラムの該当入力欄の上で離しま す。 右 Windows プログラムの例 では、企業コード・ユーザ名・パス ワードについて、上記の操作を3回 繰り返します。

Windows プログラムの入力欄へ

直接入力しないでください。

🍰 認証アプリケーション 🛛 🔀	
企業コード 90512 ← ユーザ名 / パスワード / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	
パスワードセットアップウィザード	
ステップ1.フィールド値のセットアップ ウィザードの最初のステップは、OmniPassで使用す 値をセットアップすることです。	るために設定しているダイアログのフィールドに記入する 🔗
OmniPassに必要なテキストを入力し、 に、OmniPassドーを実際のフィールドま 入力します。OmniPassドラキストを自動 て、上の手棚を繰り返してだだい。 注:ダイアログボックスに基づいてアブリケーションのウィゲ Webサイトでこのウィザードを使用することはできません テキスト: マスクテキスト 私は、OmniPassに記憶させようとしているダイアロ しました。	電話可能なフィールドに必要事項を記入します。次 でドラッグし、そのフィールドにデキストを かりて記入するダイアログボックスの各フィールドに対し ザードのみを使用することができます。パスワードのある ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
< 戻る(<u>B</u>)	次へ(1)> キャンセル ヘルプ

4 全ての入力が完了したら、「私は、 OmniPass に記憶させようとしているダイアログボックスの、すべてのフィールドのセットアップを完了しました。」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。

5 Windows プログラムの名前を「覚 えやすい名前」に入力し、「次へ」 をクリックします。



ステップ2. 覚えやす(ウィザードの第2の い [*] 名前をセットア	ハ名前のセットアップ ステップは、OmniPassがWebサイトまたはアプリケーションダイアログを参照する"覚えやす ップすることです。
(2) OmniP J.	assがボールトのこのダイアログを参照する名前を指定すると、ユーザー認証が要求されま
憶えやすい名前:	■記録正アプリケーション 💌
	しに、このダイアログ用のパスワードを自動的に記入します。

6

Windows プログラムで最後に操 作するボタンを指定します。「この アイコンをドラッグ」をマウスでつ かみ、 操作するボタンの上で離し ます。

OmniPass への記憶操作は以上で 終了です。「次へ」をクリックしま す。

企業コード	90512			
ユーザ名	RIATOC SYSTEN			
パスワード	*****			
キャンセル	ログイン ┥			
			(🗞)	
			\leq	
スワードセットアップ	ウィザード			
ステップ3. OK/送	信ボタンのセットアップ			6
第3のステップは、 でボタンをセットフ	、すべてのフィールドに必要事 Pップすることです。	項が記入し終わった後に、Omn	iPassがクリックするダイアログ	Ŷ
第3のステップは、 でボタンをセット、 このス:	、すべてのフィールドに必要事 Pップすることです。 デップでは、ダイアログのパスワ 設定してください。	項が記入し終わった後に、Omn ードフィールドに記入した後にOr	iPassがクリックするタイアログ nniPassが取るべきボタンアクシ	9
第3のステップは、 でボタンをセット; このス: コンを言	すべてのフィールドに必要事 アップすることです。 テップでは、ダイアログのパスワ 発定してください。 フィールドに必要事項を入力」	項が記入し終わった後に、Omn ードフィールドに記入した後にOr したら、OK、送信、他のユーザー	iPassがクリックするタイアログ mniPassが取るべきボタンアクシ 定義ボタンを自動的にクリックし	æ
第3のステップは、 でボタンをセット、 このス・ コンを言 ビーパスワード す。	マイズのフィールドに必要事 アップすることです。 テップでは、ダイアログのパスワ 身定してください。 フィールドに必要事項を入力	項が記入し終わった後に、Omn ードフィールドに記入した後にOr ったち、OK、送信、他のユーザー	iPassがクリックするタイアログ nniPassが取るべきボタンアクシ 定義ボタンを自動的にクリック(F
第3のステップは でボタンをセット; この2; コンを言 ビアスワード す。 パスワードフィーノ まで、ボタンアイ2	マイズのフィールドに必要事 アップでは、ダイアログのパスワ 安定してくたさい。 フィールドに必要事項を入力 レドに必要事項を記入した後 ンをドラッルして代をでい。の	項が記入し続わった後に、Omn ードフィールドに記入した後(20r したら、OK、送信、他のユーザー (ComniPassがのリックするボタン) (Passがポタンを検出できない)	iPassがウリックするタイアログ miPassが取るべき末タンアクシ 定義ボタンを自動的にクリック(の右	F
第30ステップは、 でボタンをセット; このス: 」えを語 レアパスワード パスワードフィー」 またで、ボタンタイ キャンガールのとなれ	マイスのフィールドに必要事 アップすることです。 テップでは、ダイアログのパスワ 袋定してください。 フィールドに必要事項を入力 いたに必要事項を記入した後 いをドラッグしてください。Omr 別しない場合、OmriPassは 4世々、キーを押すシミュレーショ	項が記入し続わった後に、Omn ードフィールドに記入した後にOr ったら、OK、送信、他のユーザー (COmniPressがクリックするまだい) 、の動作だ行います ~を行うと、ダイアログのデフォルト	iPassがウリックするちイアログ nniPassが頃なべき末タンアクシ 定義米タンを自動的にクリックし の右 cのボ このアイコンをドラ	F
第3のステップは、 でボタンをセット; このス: リンを詰 アフード、 パスワードフィー」 または赤タンを道 メーボードの「En タンがのリックされ	マイスのフィールドに必要事 アップすることです。 テップでは、ダイアログのパスワ 安定して代きない。 フィールドに必要事項を入力 リーレンを要事項を記入した後 リンをドラッグして代きてい。Omr れしない場合、OmriPassは ter"キーを押すシミュレーショ ます。	項が記入し終わった後に、Omn ードフィールドに記入した後にOr したら、OK、送信、他のユーザー (COmniPassがクリックするボタン (COmniPassがクリックするボタン いPassがパックを検出にさない場 ンの時作を行います レを行うと、ダイアログのデフォルト	iPassがクリックするタイアログ nniPassが取るべきボタンアクシ 定義ボタンを自動的にクリック(の右 合のボ このアイコンをドラ	J.
第3のステップは でボタンをセット; このス: コンを言 アスワード マス パスワードフィー」 まで、ボタンアイ またはボタンを望 キーストドの「En タンがクリックされ	マイズのフィールドに必要事 アップでは、ダイアログのパスワ 気定してください。 フィールドに必要事項を入力 レドに必要事項を記入した後 ンをドラッリてください。OmiPassは tet [*] キーを押すシミュレーショ ます。	項が記入し続わった後に、Omn ードフィールドに記入した後(COr ったら、OK、送信、他のユーザー (COmniPassがのリックするボタン iiPassがパタンを検出できない場 次の動作を行います ッを行うと、ダイアログのデフォルト	iPassがクリックするタイアログ miPassが取るべき末タンアクシ 定義未安しを自動的にクリック(の右 このアイコンをドラ	J.

7 $\int \frac{\int (l^2 d r) dr}{l^2 d r} \int \frac{(l^2 d r) dr}{l^2$

ELAN.	OmniPassで使用するために、アプリケーションのパスワードダイアログボック スのセットアップをほとんど完了しています。以下をクリックできます 以下のボシノは設定をテストします。テストをスキップすると、パスワードは OmniPassボールドに入力されますが、正しく作動しないことがあります。	
	パスワードダイアログをテストします]

8 テスト結果に問題がなければ、「はい」をクリックします。

パスワ	ードウィザード
1	パスワードはダイアログボックスに正しく記入されましたが
	(はいの) いいえ(い)

9

最後に「完了」をクリックします。

パスワードセットアップウィザード		×
FERR	OmniPassで使用するために、アブリケーションのパスワードダイアログボック スのセットアップをほとんど完了しています。以下をクリックできます 以下のボタンは設定をテストします。テストをスキップすると、パスワードは OmniPassボールトに入力されますが、正しく作動しないことがあります。	
	パスワードダイアログをテストします	
HANK	〈戻る(B) 完了 キャンセル へルナ	

次回より、Windows プログラムのアカウ ント入力が表示されると、OmniPass 指紋 認証ダイアログが表示されます。アカウント 情報を入力する代わりに、OmniPass の指 紋認証だけでログオンすることができます。



■ID の管理

ー人の人が同一のウェブサイトで複数のアカウントを取得している場合についても、OmniPass にア カウント情報を記憶させて OmniPass 指紋認証機能を使用することができます。複数のアカウントを 管理する場合は、一人のユーザに対して複数の ID を作成し、それぞれの ID に一つのアカウント情報を 設定します。

1 OmniPass コントロールセンタを 起動し、「アカウントの管理」を選 択します。 新しい ID を追加する場合は、「新規 ID」をクリックします。

MOmniPass				
ユーザの管理	ユーザ設定	システム設定	アカウントの管理	1
アカウント設定 ● IDの管理 ● パスワードの管理 ● パスワードウィザード		D の 管理		
	RATOC (既定值)			
		デフォルトとって醸造	E	
	旧の削除	デフォルトといて話す	王 新規ID	
	旧の削除	デフォルトさって能行	至 新規ID	

2 「ユーザ名に対する新規ID」を入力 し、「OK」をクリックします。コン トロールセンタの設定は以上です。

OmniPass — 新規ID名の入力	×
新たに作成するID名を入力してください。	
ユーザー名に対する新規ID: RATOC	
RATOC2	
OK() キャンセル()	

3 同一のウェブサイトで複数のアカ ウント情報を記憶させる場合は、 「ログオンパスワードの記憶」を行 う前に「ユーザ ID の切り替え」を 行い、ユーザ ID ごとに一つのアカ ウントを記憶させます。 ユーザ ID の変更は、タスクバーの 「OmniPass コントロールセンタ」 を右クリックし、「ユーザ ID の切り 替え」を選択します。



- 4 「ID の切り替え」ダイアログより、 変更したい ID を選択します。ID 変 更後、ログオンパスワードの記憶を 実行します。
- 5 各ユーザ ID の「パスワード管理」 は、OmniPass コントロールセンタ の「アカウントの管理」のページの 「パスワード管理」より行うことが できます。右の「ID」を選択するこ とにより、ID ごとに記憶されたパス ワード情報等が表示されます。

	00 W W2		
	2-7-8		
	1940z		(+t)
	D	BATOC	¥

§OmniPass	
ユーザの管理	ユーザ設定システム設定アカウントの管理
アカウント設定 ● IDの管理 ● パスワードの管理 ● パスワードウィザード	() パスワードの管理
	D: RATOC2 パスワー 、保護されたが17日5 ユーダ名とパスワード
	 ページの削除 値のマスク部除 事前に登録したWeiページを表示したときに、認証操作は行わずに自動的にバスワードを入力します。 ユーザ認証が正常におこなわれると、選択したリイスワードダイアログの
	OK キャンセル 適用 ヘルプ





3-2. 暗号化と復号化

OmniPass はフォルダ単位・ファイル単位での暗号化と復号化を行うことができます。また、OmniPass 暗号化ファイルは複数の OmniPass 登録ユーザと共有することができます。

■暗号化

T

1 OmniPass コントロールセンタを起 動し、「暗号化と復号化」のページを選 択します。

> 暗号化を行いたいフォルダもしくはフ ァイルを選択し、「暗号化」をクリック します。

> "C:¥Windows" に格納された Windows のシステムファイル、 "C:¥Program Files"にインストー ルされたプログラム、OmniPass がイ ンストールされているフォルダは、暗 号化するこができません。

T	システム設定	アカウントの管理	暗号化很号化	バージョン情報
ſ	🚱 デスクトップ	名前	サイズ	種類
	■ 🛑 マイ ドキュメ	ント Sbitmap1	17KB	ビットマップ イメージ
		- 2 Ditmap2	65KB	ビットマップ イメージ
	日 マイ ネシーン	💊 bitmap3	27KB	ビットマップ イメージ
	test	🔊 bitmap4	17KB	ビットマップ イメージ
	_	No itmap5	17KB	ビットマップ イメージ
		No itmap6	65KB	ビットマップ イメージ
		bitmap7	17KB	ビットマップ イメージ
		bitmap8	65KB	ビットマップ イメージ
		Ditmap9	10KB	ヒットマッフ イメーシ
1	<u> </u>			
-				
ÈŚ	マテムファイルを暗号化	とできません。		
			暗	号化 復号化
		Statement of the local division of the local		





認証に成功すると自動的に暗号化が行



われます。



4 暗号化が完了すると警告メッセージが 表示されます。内容を確認して「OK」 をクリックします。 暗号化を行ったファイルは下図の鍵の

付いた新しいアイコンで表示されま す。ファイルの拡張子は「.opf」、フォ ルダの拡張子は「.opef」に変換されま す。





5

暗号化の操作は Windows Explorer から行うこともできます。マウスの右 クリックでコンテクスチュアルメニュ ーを表示し、「OmniPass ファイルの 暗号化」を選択すると上記と同じ暗号 化の操作を行うことができます。

C#Documents and Setting	¥RATOC¥デスクトップ	#17	1648	Wat Can	E 164
ファイルとフォルダのタスク 🚖	Post -	917	ファイルフォルダ	2005/05/31 17:22	
 ■ このフォルダの名前を変更する ● このフォルダを取らする ● このフォルダを Web に公開する 	1010日 1037日-563 検索(日) 001日第5月 001日第5月 001日第5日 101日				
2014 🙁	භාභාග 22~©				
 BATOC ワイドキュメント 共和ドキュメント 	ショートカットの作成(型) 削除(型) 名前の変更(M)				
9 71 2021-0 9 71 2010-0	70/17+18]			
11 (a)		$\overline{}$			

■復号化

2

▲ OmniPass コントロールセンタを起

動し、「暗号化と復号化」のページを選 択します。

復号化を行いたいフォルダもしくはフ ァイルを選択し、「復号化」をクリック します。

マウスの右クリックでコンテクスチュ アルメニューを表示し、「OmniPass ファイルの復号化」を選択して、復号 化の操作を行うこともできます。

[□] デスクトップ	交前	サイブ 種類
עאב דא 🕒 🕞 🕞		シュス 福知
🔄 🔄 マイ コンピューク	2 コンピュータ	システム フォルダ
■ 🔜 マイ ネットワーク	7 シマイ ネットワーク	システム フォルダ
	1 1 1 2 み箱	システム フォルダ
	🧃 Internet Explorer	システム フォルダ
	i test	Softex OmniPass En
:システムファイルを暗号化で	きません。	
システムファイルを暗号化で	きません。	



3 認証に成功すると自動的に復号化が行われます。



⚠

復号化を行う方法として、Explorerに表示された暗号化フ ァイル・暗号化フォルダをマウスから直接ダブルクリックす る方法があります。ダブルクリックすると自動的に復号化さ れ編集等行うことができますが、一度ファイルを閉じると暗 号化された元の状態に戻ります。



■暗号化ファイルの共有

Windows Explorer からマウスの右 1 クリックでメニューを表示し、 「OmniPass 暗号化ファイルの共有」 を選択します。



暗号化ファイル共有のための認証を行 2 います。



暗号化ファイルの共有を行うユーザを 3 上部の一覧から選択し、「ユーザの追 加」をクリックします。

OmniPass暗号化ファイルの共有	X
OmmaPassは、暗号化ファイルを他のOmmaPassユーザと共有できるよう たファイルまたはフォルダを表示、修正、および剤除できるようこした てください。	NEします。選択し いユーザを選択し
チェック: B RATOO-1865PERL	•
C RATOO-IS65PERL¥RATOO	
RATOO-1865PERL¥sskamoto	
7-tforight	
次のフーザは、選択したファイルまたはフォルダを表示、修正、およ	7満11金すろ権限を付
与されています。	CHINE STREET
RATOC-1865PERL¥RATOC	
	4.2.6.0
OK	キャンセル

3

4 下部の一覧に共有化を許可するユーザ が追加されます。



OmniPass 暗号化ファイルやフォルダを共有すると、共有するユーザとの間で共有されたリ ソースを効果的に制御することができます。一旦共有の許可を行うと、許可されたユーザはすべ てのファイルのコピー・編集および削除を行うことができ、更には OmniPass ユーザのリスト から全てのユーザを排除することができます。許可を与えたユーザが暗号化されたリソースの制 御をできないようにすることも可能となりますので、注意してください。



ファイルの共有を許可されたユーザが復号化の操作を行う場合は、ユーザは OmniPass にロ グオンする必要があります。OmniPass にログオンしていない状態で、ファイルの復号化を行 うことはできません。





4-1. ユーザの追加と削除

OmniPass ユーザの追加ではユーザ名とパスワードが必要になります。ユーザの追加を行う場合は、 先に追加するユーザ Windows のログオンパスワードを作成してください。

■ユーザの追加

- 1
 タスクバーに格納された鍵マーク (OmniPass コントロールセンタ)

 をダブルクリックします。
- 2 「新規ユーザを OmniPass に追加」 をクリックします。



3 2-5.0mniPass ユーザ登録で説明されている手順2から手順9に従ってユーザ登録を行います。



■ユーザの削除



ユーザを削除すると、そのユーザに関連付けられた OmniPass データは自動的に破棄され ます。また、そのユーザが暗号化したファイルは復号化できなくなります。 削除を行う前に、以下の操作を行うことを推奨します。 (1)全ての OmniPass 暗号化ファイルを復号化する。 (2) ユーザプロファイルをエクスポートする。

OmniPass コントロールセンタを起 動し、「ユーザの管理」のページを選 択します。

「OmniPass からユーザを削除」を クリックします。



2 削除を行うユーザの指紋認証を行い ます。



3 削除されるユーザ名と警告の内容を 確認して、事前に適切な処置を行っ た後、問題がなければ「OK」をクリ ックします。





4-2. アカウント情報の管理

「ログオンパスワードの記憶」で OmniPass に記憶させたパスワード情報をパスワードの管理で参照 することができます。万が一、パスワードを忘れた場合にも確認できます。

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「アカウントの管理」を選択します。 「アカウントの管理」を開くためには、 右の認証が必要です。



アカウント設定」メニューより、「パ スワードの管理」を選択します。 「パスワード保護されたダイアログ」 に OmniPass が記憶したウェブサイ トおよび Windows プログラムの名前 が表示されます。「ユーザ名とパスワー ド」にそれぞれのアカウント情報が表 示されます。 「ページの削除」をクリックして、記

憶した情報を削除することができま す。



OmniPass による記憶されたサイトの処理方法には、下記の3つの設定があります。

(1)パスワード保護されたサイトを選択した場合に自動的にアクセスします。認証プロンプトは表示されません。

(2) ユーザが認証されると、選択したパスワードダイアログの「OK」または「送信」ボタン が自動的にクリックされます。

(3) 上記のいずれにもチェックを入れない設定。

デフォルト設定は(2)です。この設定では、OmniPass に記憶されたサイトを開くたびに、 SREX-FSU1 指紋センサによる指紋認証を要求します。指紋の本人認証に成功すると、このサ イトに自動的にログオンします。(1)の設定は、あまり安全ではありません。(1)の設定を有 効にすると、このサイトに移動するたびに、OmniPass は認証を要求せずにサイトに自動ログ オンします。(3)の設定にすると、OmniPass に記憶されたサイトを開くたびに、SREX-FSU1 指紋センサによる指紋認証を要求します。本人の指紋認証を行うと、サイトの入力位置へアカ ウント情報(ユーザIDやパスワード)は自動的に記入されますが、サイトにログオンするため には、WebサイトのOK、送信、またはログオンボタンをクリックする必要があります。





ユーザのエクスポートにより、OmniPass に記憶させたサイトのアカウント情報、登録した指紋データを バックアップすることができます。OmniPass のアンインストールを行う前に、必ずユーザのエクスポート を行ってください。

職場のパソコンで暗号化したファイルを自宅のパソコンに持ち帰って復号化したいというような場合、暗 号化を行ったパソコンでエクスポートしたユーザプロファイルを復号化したいパソコンにインポートする必 要があります。但し、「異なるユーザとしてインポート」をチェックする必要があります。

■ユーザのエクスポート

OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ユーザの管理」を選択します。「ユ ーザの管理」のメニューから「ユーザ のインポートとエクスポート」を選択 し、「OmniPass ユーザプロファイル のエクスポート」をクリックします。



2 エクスポートのための認証を行いま す。



3 エクスポートファイルの保存先とファ イル名を設定し、「保存」をクリックし ます。



4 「ユーザのエクスポート完了」メッセ ージが表示されます。「OK」をクリッ クします。



QomniPass

■ユーザのインポート

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ユーザの管理」を選択します。「ユ ーザの管理」のメニューから「ユーザ のインポートとエクスポート」を選択 し、「新しいユーザを OmniPass にイ ンポートする」をクリックします。

> OmniPass に同じ名前で登録されたユ ーザがすでにいる場合、インポートす ることはできません。

- ユーザ酸症
 システム酸症
 アカウンルの管理
 >>

 ユーザのインポート/エクスポート

 ユーザのインポート/エクスポート

 シューザのインポート/エクスポート

 シューザのインポート/エクスポート

 デーサックパート/エクスポート

 シューザののの前間

 アカウンの管理

 シューザの日本

 アカウンの管理

 シューザのインポート/エクスポート

 デーサックパート/エクスポート

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンボート/エクスポート

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アカウンの目的

 アナート

 アナート

 アナート

 アナート

 アナート

 アナート

 アナー

 アナー
 </
- 2 「OmniPass インポート/エクスポートファイル」を選択し、「次へ」をクリックします。



インポートするファイルを選択し、「開 3 く」をクリックします。



ユーザのエクスポートを行った時に使 Δ 用していた「ユーザ名」・「ドメイン 名」・「パスワード」を入力して「次へ」 をクリックします。

 Λ

エクスポートを行った時とインポート するユーザの「ユーザ名」・「ドメイン 名」・「パスワード」が異なる場合は「異 なるユーザとしてインポート」をチェ ックしてください。2回目の入力のと きにインポートするユーザの「ユーザ 名」・「ドメイン名」・「パスワード」を 入力してください。

(OmniPass OmniPass用のユーザ プロファイルをエクスポートしているときに使用したユーザ名、ドメイン、および、スワードを入力してください。 注:ドメイン名を空白にすると、OmniPassのみで使用するユーザをイン ボートできます。 ユーザ名: RATOC ドメイン: ratoc-i865perl バスワード: ••••• □ 異なるユーザとしてインポート 次へ キャンセル

ユーザ名とバスワードの確認

5

「ユーザのインポート完了」メッセー ジが表示されます。「OK」をクリック します。



OmniPass インポート ユーザ



OmniPass のその他の設定機能について説明します。

■認証デバイスの登録

「認証デバイスの登録」は、既に登録されたユーザについて、別の指の指紋データも追加登録したい場合 に使用します。将来、OmniPass で別の認証デバイスが追加サポートされた場合に、「認証デバイスの登録」 よりそのデバイスを登録して、認証に使用することができます。

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ユーザ設定」のページの「登録」を選 択し、「認証デバイスの登録」をクリック します。



2 「SREX-FSU1 Fingerprint Sensor」 の指紋表示を選択して、「次へ」をクリッ クします。

> 以後の操作は、2-5.0mniPass ユーザ登 録の3からの手順と同じです。



■認証デバイスの必須設定

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ユーザ設定」のページの「登録」を選 択し、「認証デバイスの必須設定」をクリ ックします。





		* 1.
2013日 必須デバ	は規則を設定してくれていた。 イス設定ページにアクセスで	こ さい するユーザを認証してください。
1. Carlos	8	キャンセル

0	認証デバイスの必須設定では、
S	①Windows とOmniPass ログオン
	②アプリケーションパスワードと Web
	サイトパスワードの置換
	③ファイルとフォルダの暗号化と復号化
	④ユーザ管理機能
	を行う際に、指紋センサによる認証を必
	須とするか否かの設定を行うことができ
	ます。

2	モデバイスの必須設定					
(認警で)	ののmniPass 証デバイスによるユーザー認 書:特定の機能に対して認 .val.v場合は、その機能にア	証を必須とするかと 証デバイスを必須と フセスすることはで?	認証デバイ うかを設定します。 設定した場合、その きません。	スの必須設5 。 の認証デバイスが	官存在しないか動作	L
	デバイス名	Windowsと OmniPassのログ オン	アプリケーション バスワードとWeb サイトバスワード の置換	ファイルとフォル ダの暗号化と復 号化	ユーザ管理機能	
	SREX-FSU1指紋セ ンサー					
	副幸者が田は美言			OK	キャンセル	

1.「Windows と OmniPass ログオン」の設定を有効にすると、指紋センサによる認証ができなくなった場合、システムにログオンすることができなくなります。
 2.Windows XP 環境では、このオプションは「強力ログオンセキュリティを有効にする」を選択するまで使用できません。



■強力ログオンセキュリティを有効にする(WindowsXPのみ)

OmniPass コントロールセンタを起動し、 「システム設定」のページを選択し、「強力ロ グオンセキュリティを有効にする」をクリック します。

「強力ログオンセキュリティを有効にする」 にチェックを入れると、WindowsXpのログオ ン画面でアカウント登録された全てのユーザ 表示は行われなくなり、Windows2000のよ うなユーザ名とパスワード入力画面が表示さ れるようになります。

§OmniPass				
ユーザの管理	ユーザ設定	システム設定	アカウントの管理	>>
システム設定 ● 起動オブション ● 強力ロジオンセキュリテ ・ で 有効にする	金カログオンセキ マ 登カログオンセキ クトップへのアケ バイス(指数リー・ 制することができ ルカム画面と高数 なくなります。	キュリティを有効にする キュリティを有効にする キュリティを有効にする。 ロリティを有効にする。 ロリティを有効にする。 ロリティを有効にする。 ロリティを有効にする。 ロリティを有効にする。 キュリティを有効にする。 キュリティを有効にする。	ティを有効(DmiPasel & Windowsデ ^{ザが特定のセキュリティ を使って認証することを でると、Windows XPのウ のコンピュータで使用で}	スデ強工き
	OK	キャンセル 適度	用 へルプ	

■暗号化/復号化

OmniPass コントロールセンタを起動し、「ユ ーザ設定」のページを選択し、「暗号化/復号化」 メニューをクリックします。 「アルゴリズムの選択」から、 >RSA Data Security's RC2 >RSA Data Security's RC4 >Data Encryption Standard (DES) を選択することができます。上から下の順で暗号 化セキュリティの信頼性は高くなりますが、暗号 化・復号化に要する時間は長くなります。



■サウンド設定

OmniPass コントロールセンタを起動し、「ユ ーザ設定」のページを選択し、「サウンド設定」 メニューをクリックします。

OmniPass のイベント(例えば、ログオン認 証に成功した時、認証が拒否されたときなど)を サウンドでユーザに通知する方法を設定できま す。



■タスクバーヒントを表示

OmniPass コントロールセンタを起動し、「ユ ーザ設定」のページを選択し、「タスクバーヒン トを表示」メニューをクリックします。

タスクバーのヒントを表示するという設定に していれば、OmniPassは「パスワードを記憶」 できるタイミングを常に通知しますので、ユーザ にログオンを要求する任意の認証イベントを記 憶することができます。







5-1. アプリケーション API

アプリケーションプログラムから OmniPass が提供している指紋認証ダイアログを呼び出し、指紋認証を行うプログラム作成方法について説明します。

■OmniPass 認証サンプルプログラム概要

製品付属 CD-ROM の「SDK¥OPValidate」フォルダに、アプリケーションプログラムから OmniPass が提供する指紋認証ダイアログを呼び出してユーザ認証を行うサンプルプログラムが格納 されています。サンプルプログラム OPValidate.exe を呼び出すと下記のダイアログが表示されます。 Main Title 欄と Sub Title 欄に OmniPass 認証ダイアログに表示したい文字列を入力し、User Name 欄に認証を行うユーザ名をセットします。「認証開始」ボタンをクリックすると、OmniPass 認証ダイ アログが表示されます。OmniPass 認証ダイアログで指紋認証を行うと、認証結果が Result 欄に表示 されます。

💑 O mn i Pass	Validate Sample	
	OmniPass認証ダイアログに表示する文字列を入力してください。	
Main Title	アプリケーション認証	
Sub Title	にれはアプリからmniPass認証ダイアログを呼び出すサンプルで	
User Name	RATOC	
Domain Name		
Result	User validation successful.	



■API 呼び出し方法

アプリケーションから OmniPass の指紋認証機能を呼び出すための準備として、

- (1) OmniPass をインストールします。 ダイナミックリンクライブラリ OP3INTC.DLL は、OmniPass をインストールすると自動的に コピーされます。
- (2) OPINT.LIB ライブラリモジュールをアプリケーションのプロジェクトに追加 スタッティックライブラリ OPINT.LIB は製品添付 CD-ROM の「SDK¥Lib」フォルダに格納 されています。OPINT.LIB をアプリケーションのプロジェクトにコピーし、プロジェクトの設 定より「リンク」ページを開いて、「オブジェクト/ライブラリモジュール」に追加します。
- (3) 製品添付 CD-ROM の「SDK¥Include」フォルダに格納されている「OmniPass.h」をアプリ ケーションのプロジェクトにコピーし、アプリケーションにインクルードします。
- (4) アプリケーションの初期化部分で OP3INTC.DLL が提供する OPGetChallenge()、
 OPResponse()とOPValidateUser()ファンクションのアドレスを取得します。

以上で、アプリケーションから各 API を呼び出すための準備は完了です。OPValidateUser()の呼び 出しを行うまでのプログラミングフローを次ページに示します。エラー処理等の詳細に関しては、添付 のサンプルソースコード「OPValidate」を参照してください。

プロジェクトの設定	2 🛛
設定の対象(S): Win32 Release ▼	 一般 デバッグ C/C++ リンク リソース Midl ス → カテゴリ´い: 一般 リセット(B) 出力ファイル名(<u>N</u>): Release/OPValidate.exe オブジェクト/ライブラリ モジュール(<u>L</u>): lopint.lib 「デバッグ情報を生成する(G) 「 デフォルト ライブラリをすべて無視(B) プロファイルを行う(E) MAP ファイルを生成する(<u>M</u>) プロン゙ェクト オブシュン(<u>D</u>): /`nOpo_ /subsystem:windows /incremental:no /pdb^c. Release/OPValidate.pdb^c /machine:I386 /out." Release/OPValidate.exe"
	OK ++)セル

■OmniPass インターフェイスアーキテクチャ







■API インターフェイス仕様

OPValidateUser

OmniPass 認証ダイアログ表示

DWORD OPValidateUser (

PCHAR UserName,	認証ユーザ名
PCHAR authTitle,	認証ダイアログに表示するメインタイトル
PCHAR authSubTitle	認証ダイアログに表示するサブタイトル
)	

引数

UserName	OmniPass 認証を行うユーザ名が格納されているバッファのアドレスを指定
	します。ASCII 文字列の終端は NULL ターミネートとしてください。
authTitle	OmniPass 認証ダイアログのメインタイトルに表示する文字列が格納されて
	いるバッファのアドレスを指定します。
authSubTitle	OmniPass 認証ダイアログのサブタイトルに表示する文字列が格納されてい
	るバッファのアドレスを指定します。

戻り値

この関数は下記の DWORD 値を返します。

OP_RET_USER_VALIDATION_SUCCESSFUL (0)	ユーザが正常に認証されました。
OP_RET_VALIDATE_CALLINGAPP_FAILED (1)	呼び出しアプリケーションが認証されていません。
	OPGetChallenge()/OPResponse()でエラーがないか確
	認してください。
OP_RET_NOT_INSTALLED (2)	OmniPass がインストールされていません。
OP_RET_INSTALLATION_CORRUPT (3)	OmniPass が正しくインストールされていません。
OP_RET_USER_NOT_ENROLLED (4)	指定されたユーザはOmniPassに登録されていません。
OP_RET_USER_VALIDATION_FAILED (5)	ユーザ認証に失敗しました。
OP_RET_GENERIC_ERROR (6)	その他のエラーが発生しました。

解説 OmniPass は指定されたユーザの認証を行います。ユーザ名格納バッファが NULL の場合は、現在 Windows にログオンしているユーザの認証を行います。
 ユーザ名をセットする場合は、下記のフォーマットで認証を行うユーザの名前を指定してください。
 ローカルユーザの場合: ".¥ユーザ名"
 ドメインユーザの場合: "ドメイン名¥ユーザ名"

OPGetChallenge OmniPass 認証初期化 I

ULONG OPGetChallenge (

PBYTE pBuffer,

PULONG pLength

)

引数	pBuffer	アプリケーションでアロケーションしたバッファへのポインタをセットします。
		NULL 以外の値がセットされた場合は、格納されるデータの場所を示します。
	pLength	ULONG データへのポインタをセットします。pBuffer に NULL がセットされている
		場合は、このパラメータは無視されます。pBuffer に有効な値がセットされてい
		る場合は、pBuffer が示すバッファのサイズをセットしてください。関数が正常
		に終了した場合は、pBuffer に返されたデータのサイズがセットされます。

戻り値

関数の終了結果を示す ULONG value を返します。

ERROR_NONE	(0xDEAD0000)	正常終了したことを示します。
ERROR_INTERNAL	(0xDEAD0001)	OmniPass で内部エラーが発生したことを示します。
ERROR_INVALID_PARAM	(0xDEAD0002)	無効なパラメータがセットされたことを示します。
ERROR_INVALID_SIZE	(0xDEAD0003)	指定のパラメータが無効であるか、必要となるサイズ
		を満足していないことを示します。

解説

この関数は OmniPass の認証関数 OPValidateUser()を使用する前に、手順に従って 2 回呼び出す必要 があります (API 呼び出しフロー図を参照してください)。初回の呼び出しでは、pBuffer に NULL を セットして呼び出しを行い、pLength に返される必要バッファのサイズを取得します。その後、 pLength で指定された大きさのバッファを確保し、pBuffer に確保したバッファへのポインタ、 pLength には確保したバッファサイズをセットし、再度この関数を呼び出します。関数が正常に終了 した場合は、このバッファに BuildResponse()に引き渡すデータがセットされます。

|--|

ULONG OPResponse (PBYTE pBuffer,

PULONG pLength

)

引数

pBuffer	アプリケーションでアロケーションしたバッファへのポインタをセットします。この
	バッファにはBuildResponse()で返されたデータが格納されている必要があります。
pLength	pBuffer に格納された有効データのサイズをセットします。

戻り値

関数の終了結果を示す ULONG value を返します。

ERROR_NONE	(0xDEAD0000)	正常終了したことを示します。
ERROR_INTERNAL	(0xDEAD0001)	OmniPass で内部エラーが発生したことを示します。
ERROR_INVALID_PARAM	(0xDEAD0002)	無効なパラメータがセットされたことを示します。
ERROR_INVALID_SIZE	(0xDEAD0003)	指定のパラメータが無効であるか、必要となるサイズ
		を満足していないことを示します。

解説

この関数は OmniPass 認証関数 OPValidateUser ()の初期化処理として使用します。この関数の戻り値が ERROR_NONEの場合は、OPValidateUser ()の呼び出しの準備が整ったことを意味します。ERROR_NONE 以外の場合は、OPValidateUser ()を呼び出すことはできません。

BuildResponse	OmniPass 認証初期化Ⅲ

ULONG BuildResponse (PBYTE pBuffer, PULONG pLength

)

引数

pBuffer	アプリケーションでアロケーションしたバッファへのポインタをセットします。この
	バッファにはOPGetChallenge ()で返されたデータが格納されている必要があります。
pLength	pBuffer に格納された有効データのサイズをセットします。OPGetChallenge()で返さ
	れたデータ長をセットしてください。

戻り値

関数の終了結果を示す ULONG value を返します。

ERROR_NONE	(0xDEAD0000)	正常終了したことを示します。
ERROR_INTERNAL	(0xDEAD0001)	OmniPass で内部エラーが発生したことを示します。
ERROR_INVALID_PARAM	(0xDEAD0002)	無効なパラメータがセットされたことを示します。
ERROR_INVALID_SIZE	(0xDEAD0003)	指定のパラメータが無効であるか、必要となるサイズ
		を満足していないことを示します。

解説

この関数は OmniPass 認証関数 OPValidateUser ()の初期化処理として使用します。この関数の戻り値が ERROR_NONE の場合は、レスポンスバッファ pBuffer が正常にビルドされたことを意味します。このバッファは、OPResponse ()に引き渡してください。



5-2. トラブルシューティング

SREX-FSU1指紋センサとOmniPassを使用される際に発生する既知の問題と回避方法について説明 します。その他のご質問に関しては、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

■OmniPass ログオン画面が表示されない

【現象】

Windows ログオン時に OmniPass 指紋認 証によるログオン画面が表示されない。 WindowsXp Home Edition をご利用されて いる場合に発生する問題です。

【回避方法】

OmniPass コントロールセンタを起動し、 「ユーザ設定」のページを選択し、システム設 定の「強力ログオンセキュリティを有効にす る」をクリックします。

右の「強力ログオンセキュリティを有効にする」にチェックを入れ、パソコンを再起動します。

§OmniPass			
ユーザの管理	ユーザ設定	システム設定	アカウントの管理 >>
システム設定 ● 起動オプション ● 強力ログオンセキュリテ - 代名有効にする	強力ログ	オンセキュリ する 2キュリティを有効にする キュリティを有効にする やたえ若汗可する前に、コ ダーやスマートカードな きます。この機能を有効 速ユーザ切り替え機能;	リティを有効に る
	OK	キャンセル	適用 ヘルプ

■OmniPass ユーザの追加ができない

【現象】

OmniPass に Windows ユーザを追加できない。

【回避方法】

ローカルのセキュリティ設定を調整する必要 があります。セキュリティ設定を調整するため には、「スタートボタン」から「コントロールパ ネル」を選択し、コントロールパネルの表示を クラシックに切り替えます。「管理ツール」を選 択し、「ローカルセキュリティポリシー」をクリ ックします。

ローカルポリシーを展開し、セキュリティオ プションを展開し、「ネットワークアクセス:ロ ーカルアカウントの共有とセキュリティモデ ル」をダブルクリックします。

右の「ネットワークアクセス:ローカルア カウントの共有とセキュリティモデルのプロ パティ」ダイアログより、「クラシック – ロ ーカルユーザがローカルユーザとして認証す る」を選択し、「OK」をクリックします。

⚠

WindowsXP Home Edition ではローカルの セキュリティ設定を調整することはできません。

📴 ローカル セキュリティ設定			
ファイル(E) 操作(<u>A</u>) 表示(<u>V</u>)	ヘルプ(日)		
⇔⇒ 🗈 X 🗗 🗟 🖆	8		
 	ポリシー / 副ドメイン メンド、可能な場合、ビキュリティ チャネルのデータをデジタ. 副ドメイン メンド、電力な、Windows 2000 かぞれに)路のバーラなン・ 副ドメイン メンド、電力な、Windows 2000 かぞれに)路のバーラなン・ 副ドメイン メンド、電力な、Windows 2000 かぞれしぶ 小の子がつり出して コーダーム・ コーダーム コーダーム コーダーム コーダーム コーダーム コー コーダーム コーダーム コーダーム コー コーク コーダーム コーダーム コーク コーク コーク コーク コーク コーク コーク コーク	セキュリティの論定 有効 有効 気力 オの オープ エー オープ エー オープ オープ オープ エー オー オー	
< >	顧回復コンソール・すべてのドライブとフォルダに、フロッピーのコピーと	無効	~

ネットワーク アクセス: ローカル アカウントの共有とセキュリティ モデルのブ ? 🔀
ローカル セキュリティの設定
ネットワーク アクセス: ローカル アカウントの共有とセキュリティ モデル
クラシック - ローカル ユーザーがローカル ユーザーとして認知する
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

■ブランクパスワードのユーザを OmniPass に追加できない

【現象】

ブランクのパスワードを持つユーザを OmniPass に追加できない。

【回避方法】

ローカルのセキュリティ設定を調整する必要があります。セキュリティ設定を調整するためには、「スタートボタン」から「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルの表示をクラシックに切り替えます。「管理ツール」を選択し、「ローカルセキュリティポリシー」をクリックします。

ローカルポリシーを展開し、セキュリティオ プションを展開し、「アカウント:ローカルア カウントの空のパスワードの使用をコンソー ルログオンのみに制限する」をダブルクリック します。

「アカウント:ローカルアカウントの空のパ スワードの使用をコンソールログオンのみに制 限する」プロパティを開き、「無効」にチェック を入れて「OK」をクリックします。

を入れて「OK」をクリックします。 WindowsXP Home Edition ではローカルの

セキュリティ設定を調整することはできません。

🗊 ローカル セキュリティ設定			×
ファイル(E) 操作(A) 表示(V)	ヘルプ(田)		
← → 🗈 × 🗗 🖪 👩	2		
 ジャン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン	オカジラー・ 2010 Morosoft ネットワーク クライアンド 常に通信にデジタル署名を行う 2010 Morosoft ネットワーク ウライアントサード バーテス(Morosoft キットワーク ウライアントサード パーライン 小可信 すれば、通信にデジル署名を行う 2010 Morosoft ネットワーク サーバー クライアントが可信 すれば、通信にデジル署名を行う 2010 Morosoft ネットワーク サーバー センジュンを平断する前に、ある一定のアイドル時間を止	<u>セキュリティの設定</u> 無効 無効 無効 15 分	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •
 ① 公開キーのポリシー ① ソフトウェア制限のポリシー ① ソフトウェア制限のポリシー ① シーカル コンピュータの IP - 	選びMicrosoft ネタドシーク サーバー ロクナノ4相の専動規模部が以てなどクイアントを切断す。 選びMicrosoft ネタドシーク サーバー 常い遺信にデジルは基金行う 選び方クンド Administrator アカウントなの変更 認び方クント Guest アカウントなの変更 認び方クント Guest アカウントなの変更	有効 無効 有効 Administrator 無効 Guest	
	(1) またつと、ローカル・方方のとめ方をのパタワードの使用をコンシール「ログトのみは原因を含 (2) シスち、オブジェクト・Aministentor のトループのシンパによって作時式化ポオブジェクトの低、 (2) シスち、オブジェクト・Windows シスちょしてはないサブンパラムのための大文学や小文学の、 (2) システム、オブジェクト・内容のシステム、オブジェクトの研究のアクセスは可く着な化する (4) - (2) システム(1) デリート 内容のシステム、オブジェクトの研究のアクセスは可く着な化する (4) - (2) システム(1) (2) - (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	無効 Object creator 有効 有効 有効 有効 無効 無効 無効 無効	
<	<	>	

アカウント:	ローカル アカウントの空のパスワードの使用をコンソール ログ ? 🔀
ローカル セ	キュリティの設定
Ð	アカウント・ローカル アカウントの空のパスワードの使用をコンソール ログオンの みに制限する
〇 7 ⊙ 課	■交力(<u>E</u>) ■交力(<u>S)</u>
	OK キャンセル 適用(A)

RATOC SREX-FSU1 質問用紙

●下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の	会社名・学校名			
方のみ	所属部署			
ご担当者名				
E-Mail				
住所	Ŧ			
TEL		FAX		
製品型番		シリアルNo.		
ご購入情報	販売店名		購入日	

●下記運用環境情報とお問い合わせ内容をご記入願います。

【パソコン/マザーボードのメーカ名と機種名】
【ご利用の OS】
【OmniPass バージョン】
【お問合せ内容】
【添付資料】
▲ 個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務 のみに利用し、他の目的では利用致しません。



